

Ritsumeikan Color-design Club

Web デザイン班 活動報告書

立命館コンピュータクラブ
2018 年度前期プロジェクト活動

2018 年 08 月 07 日

土田三四郎¹⁾美濃邊大樹²⁾YUN Jonghee³⁾
伊藤聡子⁴⁾玄元奏⁵⁾芹澤拓也⁶⁾中野海人⁷⁾山岡聖弥⁸⁾
水野佑哉⁹⁾眞谷知宏¹⁰⁾

-
- 1) 情報理工学部情報理工学科 1 回生
 - 2) 情報理工学部情報理工学科 1 回生
 - 3) 情報理工学部情報理工学科 1 回生
 - 4) 情報理工学部情報理工学科 (知能)2 回生
 - 5) 情報理工学部情報理工学科 (実世界)2 回生
 - 6) 情報理工学部情報理工学科 (SA)2 回生
 - 7) 情報理工学部情報理工学科 (知能)2 回生
 - 8) 情報理工学部情報理工学科 (メディア)2 回生
 - 9) 情報理工学部理工学科 3 回生
 - 10) 理工学部機械工学科 3 回生

目次

| | | |
|-----|--------------|---|
| 1 | はじめに | 2 |
| 2 | 活動概要 | 2 |
| 3 | 学習会 | 2 |
| 3.1 | デザイン学習会 | 2 |
| 3.2 | HTML/CSS 学習会 | 2 |
| 4 | 個人制作 | 2 |
| 4.1 | 個人制作概要 | 2 |
| 4.2 | 成果物発表会 | 3 |
| 4.3 | 成果物作品例 | 3 |
| 5 | 活動で得られたもの | 5 |
| 6 | 考察 | 5 |
| 7 | 展望 | 5 |
| 8 | 参考文献 | 5 |

1 はじめに

文責：伊藤聡子

近年、デザイン性が高く、個性あふれる Web サイトが多くある。また、サイトだけでなくアプリ・広告などでもデザイン性を求められ、それと同時に使いやすさも求められている。我々、Web デザイン班は、自身の力でデザイン性が高く、使いやすい UI の Web サイトを制作できるようになることを目標とし、前半は講義形式で基礎的な HTML/CSS やデザイン、色彩についての知見を深め、後半は各々で Web サイトを制作した。

2 活動概要

文責：YUN Jonghee

デザインとは何かということをしっかり理解した上、HTML と CSS を学び、実際に HTML と CSS を用いて、Web サイト制作を行った。最後には、各々が製作した Web サイトを発表した。

3 学習会

3.1 デザイン学習会

文責：土田三四郎

デザインの概要から学習が始まり、5W1H の大切さ、色の表記法や性質といった初歩的な知識を確認した。それらを理解した上で見やすいレイアウトにするためのノウハウを学んだ。この学習会では背景・メインカラー・アクセントカラーの配色決め、Adobe XD CC の操作に慣れることを課題とした。特に配色決めでは、可読性に気を付ける点を学んだ。

3.2 HTML/CSS 学習会

文責：中野海人

HTML と CSS の基礎を学習した。HTML の学習では、HTML とは何か、書き方や構成、宣言の仕方などを学んだ。CSS の学習では、id と class での書き方の違い、よく使う、CSS の要素について学んだ。また、課題として Progate に登録し、HTML/CSS の初級編を行った。

4 個人制作

4.1 個人制作概要

文責：眞谷知宏

個人作成では最初に各個人が作りたい大まかなデザインを考えて、その後に実際にコードを書いた。各個人が作りたいデザインに似た画像を探して、コードをそのまま写し撮ったり、ホームページの配色がおかしくなっていないか、カラーコード一覧が載っているサイトで見比べながら、よりよいデザインになるように色の配色を考えた。CSS では文字の配置や画像の配置に配慮し作成した。

4.2 成果物発表会

文責：美濃部大樹

個人のパソコンをスクリーンにそれぞれ繋いで発表した。各々、HTML/CSS 学習会や独学で調べた内容を利用してデザイン設計をし、それに合わせてコードを書いた。日本語のサイトを英語表示だけでなく韓国語表示にしたり中国語表示にするようなものや、メールフォームを実装しているもの、ボタンをクリックすると見たいところまでジャンプするような工夫もされているものなどがあり、大変出来がよかった

4.3 成果物作品例



図 1: 作品例 1



図 2: 作品例 2



图 3: 作品例 3

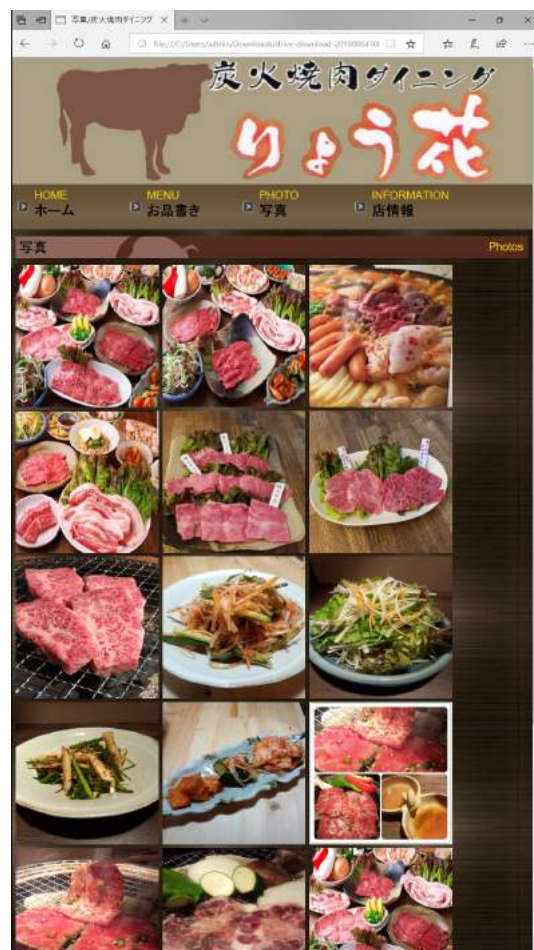


图 4: 作品例 4

5 活動で得られたもの

文責：水野佑哉

デザイン学習会は他の人の配色決めを見ることができるなどができたため、他人の発想力を吸収できたと言える。HTML/CSS 学習会においては HTML を未経験の人において触れるための足掛けとなることができた。経験者においても様々な構文やタグについての復習をすることができた。

この活動で得られたものはホームページを作るうえでとても大事であり、新たな考えを生み出すことも出来るものである。

6 考察

文責：伊藤聡子

前半を講義形式で基本的な知識を共有し、後半に個人作業を持ってくることにより、全員が最低限の知識を持った状態で開発を行うことが出来た。

また、Progate を使用することにより、復習をすることで知識を定着させることが出来ていたように思う。

最終的に、全員がオリジナルの Web サイトをある程度完成させることが出来た。これは、大きな成果であると考ええる。

7 展望

文責：山岡聖弥

昨年度のデザイン班の活動成果が、今年度の本会広報物の質を向上させるのに一役買っている。今回の活動においても、KC3 の Web サイトや親族の活動を広報するためのサイトなどを作る班員がいた。このように、このプロジェクト活動で得た知識が本会広報物の質を向上させたり、様々な方面で活きたりすることを願ってやまない。

8 参考文献

[1] 筒井 美希, エムディエヌコーポレーション (MdN), ”なるほどデザイン”